



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,491.96	72.66	0.39	0.52	6.12	17,425.03
NASDAQ	5,249.90	22.69	0.43	0.59	4.84	5,007.41
日経225	16,925.68	-1.16	-0.01	3.45	-11.08	19,033.71
上海総合	3,067.35	4.05	0.13	-0.10	-13.33	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,314.11	12.54	0.38	0.21	-11.17	3,731.01
ハンセン	23,266.70	104.36	0.45	1.56	6.17	21,914.40
H株	9,686.88	80.80	0.84	1.43	0.27	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.6%高と反発、上海総合指数は0.1%安

香港市場ではハンセン指数は1週間で1.6%高と反発。週前半は節目の23000ポイントを挟んだ攻防。米早期利上げ懸念が浮上する一方、「深港通」の11月導入観測が伝わり相場を支えた。週後半は米利上げ観測の後退を受けて連日で年初来高値を更新。2日にはハンセン指数が23200ポイント台まで上昇し、約1年ぶり高値をつけた。本土市場では上海総合指数が1週間で0.1%安と続落。杭州で開かれるG20首脳会議を前に中国政府が相場の安定維持に動くとの思惑が高まったが、週を通じて方向感に乏しい展開が続いた。

今週の展望:香港市場は高値圏でもみ合いか、9月の米利上げ観測後退が追い風

香港市場は高値圏でもみ合いの展開か。先週末発表の8月の米雇用統計が市場予想を下回ったことで、週初は9月の米利上げ観測の後退を好感した買いが先行しそうだ。ただ、今週は週後半の8日に貿易統計、9日に物価統計と中国の経済指標の発表が予定されており、週末にかけて慎重姿勢が強まる公算が大きい。中国の追加金融緩和期待が後退する中、経済指標が弱い内容だった場合には利益確定売りが広がる可能性がある。一方、本土市場は底堅い展開か。引き続き構造改革や国有企業改革の進展期待が相場を支えそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中銀香港 (02388)	27.60	6.15
2 交通銀行 (03328)	6.09	5.73
3 瑞声科技 (02018)	86.55	5.55
4 HSBC (00005)	59.00	5.55
5 リー&フン (00494)	4.00	5.26
6 サング・チャイナ (01928)	32.25	5.05
7 百麗国際 (01880)	5.24	4.80
8 中国銀行 (03988)	3.57	4.69
9 中国神華能源 (01088)	14.34	4.52
10 華潤置地 (01109)	22.35	4.20

▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国旺旺 (00151)	5.10	-4.67
2 中国中信 (00267)	11.98	-4.62
3 CNOOC (00883)	9.42	-2.08
4 恒基兆業地産 (00012)	45.35	-1.95
5 信和置業 (00083)	13.18	-1.79
6 中国蒙牛乳業 (02319)	15.18	-1.56
7 ベトロチャイナ (00857)	5.18	-1.52
8 チャイナ・モバイル (00941)	95.05	-1.25
9 中電控股 (00002)	80.00	-1.23
10 昆侖能源 (00135)	5.66	-1.22

▼今週の主なイベント

- 9月5日(月)
- 【中国】G20 首脳会議閉幕
- 9月8日(木)
- 【中国】貿易統計(8月)
- 9月9日(金)
- 【中国】CPI, PPI(8月)

▼今週の期待材料

- ◆2日発表の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を下回る、9月の米利上げ観測が後退
- ◆習近平国家主席がG20首脳会議を前に演説、経済の構造改革推進と中高速の経済成長維持を強調
- ◆ストックコネクトを通じた中国からの資金流入が増加、2日の流入額は48億元と2カ月ぶりの高水準に

▼今週の懸念材料

- ◆8日に米地区連銀経済報告(ページブック)発表、再び早期の米利上げ観測が高まる可能性も
- ◆8日に中国の8月の貿易統計発表、市場予想に届かず弱い内容なら景気の下押し圧力強まる公算
- ◆ハンセン指数は先週の上昇で1年ぶり高値圏に、高値では利益確定売りが広がる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ HSBC (00005) : 2日のロンドン市場で436万株の自社株買いを実施
- ☆ 華電国際電力 (01071) : 河北省の風力発電プロジェクトを地元政府が認可
- ☆ 中国鉄建 (01186) : ナイジェリアの未着工鉄道建設事業の実施を決定
- ☆ サング・チャイナ (01928) : 新カジノが13日開業、開業時の認可テーブルは100台
- ☆ 瑞声科技 (02018) : ハンセン指数構成銘柄への新規採用が9月5日付で発効
- ☆ 上海復星医薬 (02196) : 中国当局が糖尿病治療薬の臨床試験の実施を認可
- ◇ 越秀地産 (00123) : 子会社が総額30億元の社債を発行、不動産プロジェクトに充当
- ★ 康師傅控股 (00322) : ハンセン指数構成銘柄からの除外が9月5日付で発効
- ★ 万科企業 (02202) : 8月の不動産販売額が前年同月比10.1%減、販売面積は5.5%減
- ★ 中国人民財産保険 (02328) : AIGが資本撤退か、発行済み株式の2.41%を売却

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。